デジタルサウンドメーカー

らくらくデジタル録音機

取扱説明書

製品型番；NV-RP004

<目次>

1. 製品の紹介 1
2. 同梱物の確認 1
3. 取扱説明書の注意事項 1
4. 安全に正しくお使いになるために 2
5. 製品の仕様 4
6. 本体の各部の名称 5
7. レコード聴く 8
【レコードを聴く際の注意事項】 8
【操作手順】 8
8. カセットテープを聴く 9
【カセットテープを聴く際の注意事項】 9
【操作手順】 10
9. ラジオを聴く 11
【ラジオ放送を聴く際の注意事項】 11
【操作手順】 11
10. USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く 12
【USB メモリーや、SD カード使用時の注意事項】 12
【操作手順】 12
11. USB メモリーまたは SD カードへダイレクト録音する 14
【ダイレクト録音の制限事項】 14
【レコードからのダイレクト録音】 15
【カセットテープからのダイレクト録音】 16
【AUX 端子からのダイレクト録音】 17
12. USB メモリーまたは SD カード間のファイルの録音(コピー) 18
■ **各記録メディア間の録音(コピー)に関しての制限事項について** 18
【USB メモリーと SD カード間の録音(コピー)手順】 19
- **準備** 19
- **1 曲のみ録音(コピー)する** 19
- **フォルダを選択して録音(コピー)する** 20
- **すべての音楽ファイルを録音(コピー)する** 21

13. USB メモリーまたは SD カードからファイルを削除する。 22
- **準備** 22
- **1 つのファイルを削除する場合** 22
- **選択した 1 つのフォルダごと削除する場合** 22
- **すべてのファイルやフォルダを削除する場合** 23

14. その他ディスプレイの表示について 24
15. レコード針の交換手順について 26
16. 困った時は…。 27
17. 購入後の保証について 29
18. サポート窓口とアフターサービス 30

ご使用になる前に

ご使用になる前に、取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

1. 製品の紹介

本製品はレコード、ラジオ、カセットテープ、または USB メモリーや SD カードに記録された MP3、WMA 形式の音楽ファイルを聴いたり、レコード、またはカセットテープから直接 USB メモリーや SD カードに MP3 形式で録音したりする機能を備えた製品です。

注.) デジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルは、メディア間のコピー、音楽の再生はできません。

2. 同梱物の確認

本製品には、以下のものが含まれています。

最初にパッケージの中にすべてのものが含まれているかどうかをご確認ください。

1. 本体　X 1
2. ターンテーブルマット　X 1
3. 交換用レコード針　X 1
4. 取扱説明書（本書）
5. 保証書

万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

なお、箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

3. 取扱説明書の注意事項

本取扱説明書での注意事項

1.取扱説明書の内容につきましては予告なしに変更する場合があります。

2.取扱説明書の内容につきましては万全を期して作成いたしますが、万一誤りまたはお気づきの点がございましたら、弊社宛ご連絡くださいますようお願いいたします。

3.ソフトウェアおよび取扱説明書を運用した結果については、上記にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

4.取扱説明書は「著作権法」によって、著作権等の権利が保護されています。

5.取扱説明書の一部または全部について、株式会社ノバックから文書による許諾を得ずに無断で転載または複写（コピー）することは、著作権等の権利侵害となる場合がありますのでご注意ください。

4. 安全に正しくお使いになるために

本製品を安全に使っていただき、あなたや他の人々、あるいは財産への損害を未然に防止するため、以下の注意事項をお読みください。下記注意事項を本書に従って、正しく安全に使用してください。

------ 警告・注意 ------

けがの恐れがあります。

- 落下、不用意な接触などに十分注意してください。
- 足など体の部分の上に落下させ、あるいは不用意にぶつけるなどすると、けがの原因となります。不安定な場所には置かないでください。特に乳幼児・児童の近くでご使用になる場合は、厳密に管理してください。
- ケーブルの巻き付けなどにご注意ください。乳幼児・愛玩動物の首などにケーブル類が巻き付くと、死亡など重大事故の恐れがあります。厳密に管理してください。

火災の恐れがあります。

- 強磁界、強電界の場所で保管やご使用にならないでください。火災の恐れがあります。
- 本製品に通電された状態で長時間、本機から離れないでください。長時間離れる場合には本製品の電源をお切りください。
- 本製品は電源 OFF の状態でも待機電力を消費します。長期間に渡り、使用しない場合は、節電のため電源コンセントを抜いてください。

感電・けがなどの恐れがあります。

- 落下などにより損傷した場合、また、移動などに際しケーブルの傷がついた場合などは、すみやかに使用を中止してください。また、破損部分や内部には手など触れないようにしてください。
- 分解しないでください。内部に不用意に触れると、けが、感電などの恐れがあります。
- 湿気やほこりの多い所水中などで使用しないでください。感電などの恐れがあります。

幼児が飲み込む恐れがあります。

- 添付部品などには、乳幼児の口に入る小さな部分があります。乳幼児の手の届かない所に保管してください。

免責事項について

※ 地震、雷、当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

※ 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求について、当社は一切責任を負いません。

※ 本製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

※ SD や USB メモリーなど各記録媒体、およびその記録媒体に記録された内容は、故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。　大切なデータ等は、使用前、使用中は、必ずお客様の責任の下、バックアップされるようお願いいたします。

5. 製品の仕様

レコード(※)	LP、EP 盤　33、45 回転 ※SP 盤、75 回転は動作保証対象外
ラジオ(※)	AM；522～1629KH z　/　FM；76～108MHz AM アンテナ本体内に内蔵　/　FM アンテナ本体後面ワイヤーケーブル
カセット(※)	コンパクトカセットテープ対応
ヘッドホン端子	3.5mm ステレオミニピン端子
AUX（補助）入力端子	3.5mm ステレオミニピン端子
電源　/　消費電力	AC　100V　50～60Hz　/　10W
スピーカー	Stereo 40mm X 70mm 4Ω 3W
本体サイズ　/　重量	320 X 292 X120mm　/　約 2.6　Kg
USB ポート/SD カードスロット 使用可能メディア(※) 対応フォルダ数/ファイル数(※)	USB メモリー / SD / SDHC カード(16GB まで) 各最大 99 フォルダ、かつ全 999 ファイル以内

※ レコード針、および、レコード針が取り付けられているカートリッジ、ターンテーブル駆動ベルトは消耗品扱となります。
保証対象期間内であっても、保証対象となりませんのでご了承ください。

※ レコード本来の原音を忠実に再現することを保証するものではございません。

※ ラジオの受信については、一般的なラジオ機器での受信ができる場所であっても、本製品でラジオの受信ができることを保証するものではありません。
地域や、建物の構造、設置場所などの状況によっては、正常に受信ができない場合があります。

※ メタル、クロムなど高性能テープ本来の性能を発揮するものではありません。

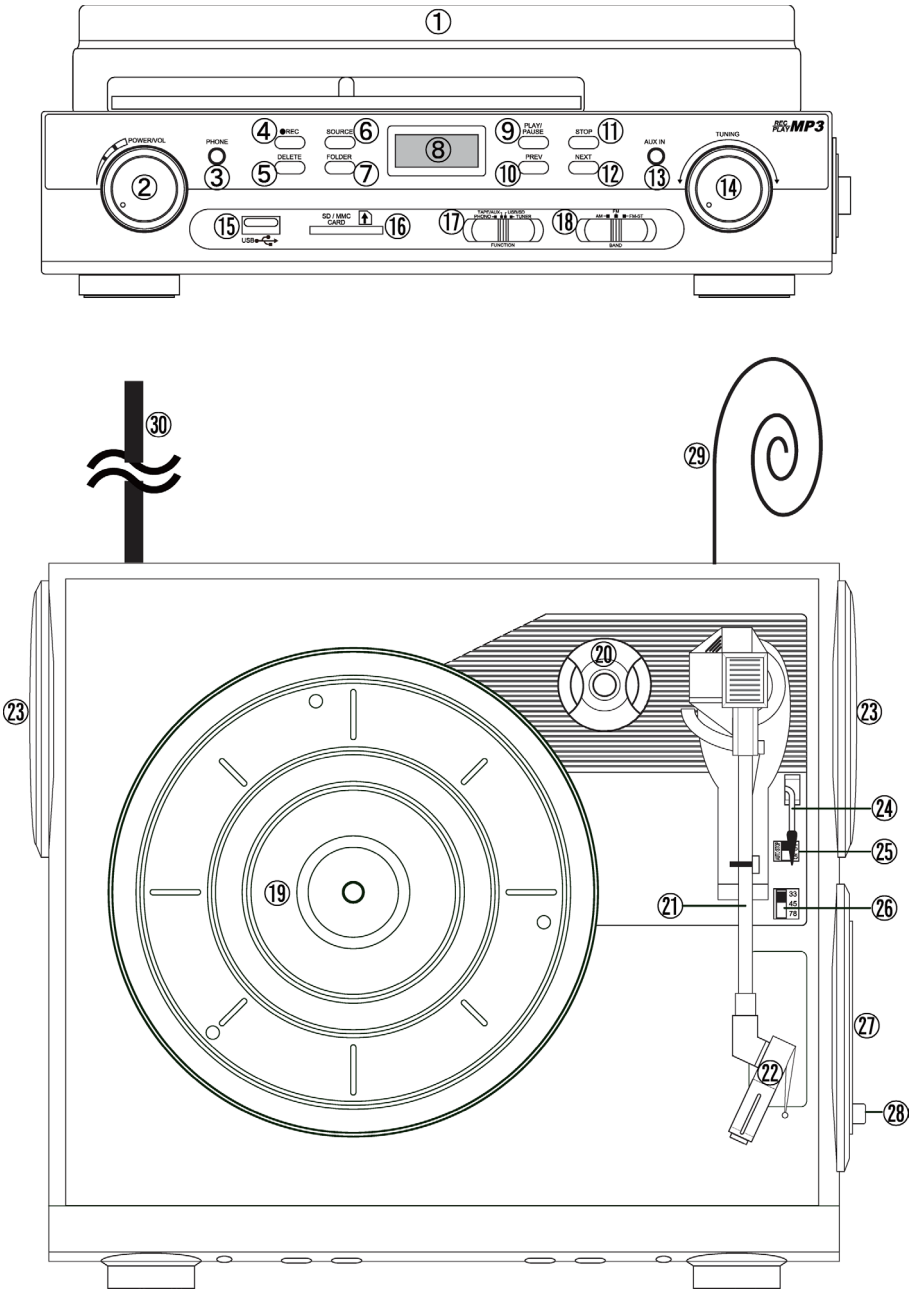
※ USB メモリー、SD(SDHC)カードについては、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。メディアと相性により動作しないことがあります。

※ 前面 USB ポートは USB メモリー以外の機器については動作保証いたしません。

※ デジタル著作権保護(DRM)付きの音楽ファイルの再生はできません。

※ フォルダ数またはファイル数の最大数を超えた分については、再生、録音等は行えません。

6. 本体の各部の名称


①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
POWER/VOL
PHONE
REC
DELETE
SOURCE
FOLDER
PLAY/PAUSE
PREV
STOP
NEXT
AUX IN
TUNING
REC PLAY MP3
USB
SD / MMC CARD
FUNCTION
BAND
33
45
78

1. ダストカバー； ターンテーブルやレコード盤へのホコリの付着を低減します。
2. Power/VOL； 電源スイッチ / ボリューム調整
3. PHONES； ヘッドホン端子 ヘッドホンやイヤホンを接続します。
4. REC； レコード、カセットテープ、ラジオから USB メモリーや SD カードへのダイレクト録音 / USB メモリー⇔SD カード間のコピーを行います。
5. DELETE； USB メモリーや SD カードに記録されたファイルの削除を行います。
6. SOURCE； USB メモリーと SD カードの切り替え(選択)を行います。
7. FOLDER； USB メモリーや SD カードに記録されたフォルダを選択します。
8. ディスプレイ； 再生を行っているモードや、ラジオの周波数、フォルダ数や曲数、タイムカウントなどの情報を表示します。
9. PLAY/PAUSE； USB メモリーや SD カードに記録したファイルの再生/一時停止を行います。
10. PREV; USB メモリーや SD カードのファイルを再生中に押すと、1 つ前のファイルに移動します。
11. STOP； USB メモリーや SD カードに記録したファイルの再生の停止や、USB メモリーや SD カードへの録音を終了します。
12. NEXT； USB メモリーや SD カードのファイルを再生中に押すと、次のファイルに移動します。
13. AUX IN； 補助入力端子。ステレオミニピンジャックケーブルを使用し、他のオーディオ機器を接続できます。
14. TUNING； ラジオの周波数の調整を行います。
15. USB； USB メモリーを接続することができます。
16. SD CARD； 標準サイズの SD カードを挿入することができます。
※ Mini SD、または micro SD カード使用時は、別途標準 SD カードサイズに変換するアダプタが必要です。
17. FUNCTION； PHONO(レコード)/TAPE(カセット) AUX / ラジオ / SD USB の各再生モードの切り替えを行います。
18. AM,FM,FM-ST； ラジオの AM 放送、FM 放送の受信の切り替えを行います。
19. ターンテーブル； レコード盤を載せます。
20. 45 回転アダプタ；45 回転 EP 盤レコードを再生する場合に使用します。
21. トーンアーム； レコードプレーヤーのカートリッジ(ヘッド部)を支持するアームです。

22. レコードヘッド； レコード針が取り付けられています。レコードを再生する時は、白い保護カバーを手前に引き抜いてから、ご利用ください。

23. スピーカー； 音声を出力します。

24. リフター； トーンアームを上下させます。

25. AUTO STOP(※)；OFF：電源スイッチを ON にしたと同時に、ターンテーブルが回転します。

ON：アームをレコード盤の方へ移動すると、ターンテーブルが回転し、アームレストへ戻すとターンテーブルの回転が停止します。

※ AUTO STOP 機能は LP 盤の終点位置に合わせて調整されています。

45 回転の 17cm サイズのレコード（EP 盤）を再生する場合は、"AUTO STOP スイッチは、"OFF"で再生してください。

26. 33/45/78； 再生するレコードに合わせて回転数を切り替えます。

※ 78 回転 SP 盤の再生は、動作保証の対象外となります。

27. カセットプレーヤー；

カセットテープの再生を行います。

28. イジェクト/早送りボタン；

最後まで押す； カセットテープの取出し。

軽く押す； テープの早送り。（※巻き戻し機能はありません。）

29. FM アンテナ； FM 放送を受信するためのアンテナです。

30. 電源コード； 家庭用 100V のコンセントへ接続します。

7. レコード聴く

【レコードを聴く際の注意事項】

※ レコード針部に、針の保護のため白いキャップが取り付けられております。
レコードを聴く際は、白いキャップを前方に引き抜いて取り外してから、ご利用ください。

※ レコード針は絶対に手や指で触らないでください。針の曲がりや、破損の原因となります。

※ レコード針に付着した塵やホコリなどを清掃する際は、市販のレコード針専用クリーナーを使用して清掃を行ってください。

※ レコードを再生中に、レコード盤に手を触れたり、手で逆転させたりなどの行為は絶対に行わないでください。　レコード針の破損や、本体の故障の原因となります。

※ 再生中や停止中を問わず、本体をゆすったり、衝撃を加えたりしないように、ご注意ください。

※ 歪みの大きいレコードや、激しい傷のあるレコードは再生しないようにしてください。音とびが発生したり、レコード針が極端に飛び、本体各所に接地したときに傷付いたり、破損したりする恐れがあります。

上記を守らず本体が破損した場合は、保証の対象となりませんので予めご了承ください。

【操作手順】

※ EP 盤（45 回転シングル盤）再生する場合は、必ず「AUTO STOP」スイッチを「OFF」の位置に設定してください。「OFF」の位置に設定しない場合、AUTO STOP 機能により最後まで再生ができないことがあります。

1. 本体前面のファンクションスイッチ(

)を PHONO の位置に合わせます。
2. ターンテーブルにレコードを載せます。
3. 回転数を合わせます。
4. リフターでトーンアームを上げ、レコードの再生位置まで、トーンアームを移動させます。
5. リフターでトーンアームを降ろし、レコードの再生を行います。

8. カセットテープを聴く

【カセットテープを聴く際の注意事項】

※ カセットテープを再生する際、テープの巻きたるみがないことを、確認してください。テープに巻きたるみがあると、テープが絡まったり、再生に異常が発生したりすることがあります。

※ 120 分および 150 分再生のカセットテープは、リールへの巻き取り外径を小さくするため、磁気テープ媒体が通常より薄く、再生すると、テープ損傷、カセットテープ全体の作動不良、走行トラブルの恐れがありますので、ご利用はお控えください。

※ 痛んだカセットテープや、変形したカセットテープを使用すると、テープの絡みや故障の原因となりますので使用しないでください。

※ 本製品で再生可能なカセットテープの形状は、一般的な、下記の図のようなコンパクトカセットのみとなります。他の形状のカセットテープを使用しますと、テープの取出し（イジェクト）ができない、または機器の故障の原因となりますので、異なる形状のカセットテープは使用しないでください。

<使用可能な形状>

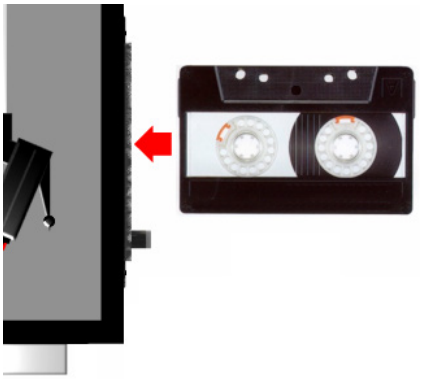
※ カセットテープは使用によりヘッド、およびピンチローラーに汚れが付着し、音質不良や、テープの走行不良の原因となります。市販のクリーニンテープや、クリーニングキット等を使用し、定期的(10 時間使用毎を推奨)ヘッド、および、ピンチローラーにクリーニングを行ってください。長時間清掃せず使用すると、再生に悪影響を及ぼすばかりか、カセットテープにも余計な磁気鉄粉や埃を付着させる遠因になることがあります。
なお、ヘッド、およびピンチローラーに汚れによる、不具合につきましては、製品保証の対象外となります。

【操作手順】

1. 本体前面のファンクションスイッチ(

)を TAPE/AUX の位置に合わせます。

2. カセットテープを下記図の方向で挿入すると、再生が始まります。



3. テープを早送りする場合は、イジェクトボタンを軽く押すと早送りします。
   ※ テープの巻き戻し機能はありません。

4. オートリバース機能はありませんので、片面が終了したら、いったんテープを取出し、A 面、B 面を入れ替えて再生を行ってください。

9. ラジオを聴く

【ラジオ放送を聴く際の注意事項】

※ ラジオの受信については、一般的なラジオ機器での受信ができる場所であっても、本製品でラジオの受信ができることを保証するものではありません。
地域や、建物の構造、設置場所などの状況によっては、正常に受信ができない場合がありますので、極力受信感度の良い場所へ設置して受信を行ってください。

※ 本製品本体後ろ面の FM アンテナを設置する際は、まっすぐ上方へ設置するようにしてください。

【操作手順】

1. 本体前面のファンクションスイッチ(

)を TUNER の位置に合わせます。
2. BAND 切り替えスイッチ（

）にて、AM または、FM を選択します。

※ FM 放送受信には「FM」、と「FM-ST」の 2 つがありますが、機能の違いは以下になります。

「FM」; FM 放送をモノラルにて受信します。
「FM-ST」; FM 放送をステレオにて受信します。ただし、受信感度が悪い場合は自動的にモノラル受信に切り替わります。

3. TUNING ダイヤルを回し、前面液晶パネルを確認しながら、放送局の周波数を調整すると、ラジオを受信することができます。

10. USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く

本製品は USB メモリーや、SD カードに記録された音楽ファイル再生することができます。

【USB メモリーや、SD カード使用時の注意事項】

※ 再生可能なファイル形式は MP3、WMA、となります。
ただし、著作権保護(DRM)された音楽ファイルの再生は行えません。

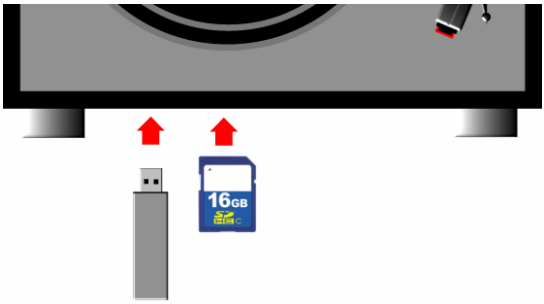
※ USB メモリーや、SD カードの記録媒体については、すべてのメディアでの動作を保証するものではありません。メディアと相性により動作しないことがあります。

※ USB メモリーや SD カードなどのフォルダの階層は 7 階層以内を推奨。

※ 再生順序はファイル名やフォルダ名に関係なく、フォルダ階層優先で、かつ各メディアに記録された順での再生となります。

【操作手順】

1. 各記録メディアは下記図の方向で挿入してください。



2. 本体前面のファンクションスイッチ(TAPE/AUX PHONO USB/SD TUNER FUNCTION)を USB/SD の位置に合わせます。

3. USB メモリー機器を本体前面の USB コネクタに接続、または SD カードを本体前面のカードスロットに挿入すると、自動的に再生が開始されます。

※ 音楽ファイルがフォルダごとに分かれている場合にフォルダを選択して再生するは、いったん前面パネルにある STOP ボタン(STOP)で再生を停止した後、フォルダボタン(FOLDER+)にて、フォルダを選択します。

※ 次の曲へ進む場合は、NEXT(NEXT)ボタンを押すと進み、1 つ前の曲に戻る場合は PREV(PREV)ボタンを押して戻ります。

4. 一時停止する場合は POUSE/PLAY(PLAY/POUSE)ボタンを押し、再生を再開する場合は、もう一度 POUSE/PLAY(PLAY/POUSE)ボタンを押すことで再生します。

5. 再生を停止するには、STOP(STOP)ボタンを押します。

※ USB メモリー機器と SD カードを同時に挿入している場合は、USB と SD カードスロットの切り替えを、前面の SOURCE(SOURCE)ボタンを押すことで切り替えられます。

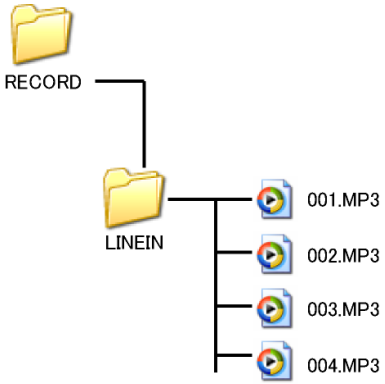
ただし、切り替える場合は、いったん STOP(STOP)ボタンを押し、停止してから、前面の SOURCE(SOURCE)ボタンを押し、切り替えを行ってください。

11. USB メモリーまたは SD カードへダイレクト録音する

本製品はレコード、カセットテープ、または補助入力端子(AUX)から USB メモリー、または SD カードへレコードをダイレクトに録音することができます。

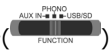
【ダイレクト録音の制限事項】

- ラジオを USB メモリー、SD カードへのダイレクト録音はできません。
- 曲間の自動区切り(ファイルの自動分割)機能はありません。
- 録音形式は MP3 形式(ビットレート 128kbps)のみとなります。
- USB メモリー、および SD カードについては　FAT、または FAT32 形式のフォーマットされたものに限ります。
- 1 つの記録メディアに録音可能なファイル数は最大 999 ファイルまでとなります。
- 録音したファイルは各記録メディア以下の階層フォルダが作成され記録されます。



※ 上記表示のフォルダやファイルのアイコンについては参考例です。使用環境によって各アイコンの表示は異なります。

【レコードからのダイレクト録音】

1. レコードを録音する場合は、ターテーブルにレコードを置きます。
2. ファンクションスイッチ(

)を、PHONO の位置に合わせます。
3. USB メモリー本体前面の USB ポートへ、または SD カードを本体前面の SD カードスロットへ挿入します。

   注.　USB メモリーと SD カードを同時に挿入することはできません。

4. レコードの再生を開始します。
5. 再生と同時に、本体前面の REC ボタン(●REC)を押すことで録音を開始します。
   録音中はディスプレイの表示が以下のようになり REC の表示が点滅します。

   レコードから録音の場合

USB メモリーへの録音

SD カードへの録音

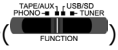
6. 録音を停止(終了)するには、本体前面の STOP ボタン(STOP)を押すと、録音を停止します。

◆Point

レコードの音楽を、曲ごとにファイルを作成したい場合は、1 曲ごとに REC ボタン(●REC)と STOP ボタン(STOP)を押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。
録音した音楽を再生する場合は、マニュアル P.12「10. USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く」の項を参照ください。

【カセットテープからのダイレクト録音】

※ 前面 AUX 端子に機器が接続されていると、AUX（補助入力）が優先されます。
カセットテープから録音する場合、前面 AUX 端子には何も接続されていない状態でおこなってください。

1. ファンクションスイッチ(

)を、TAPE/AUX の位置に合わせます。

2. USB メモリー本体前面の USB ポートへ、または SD カードを本体前面の SD カードスロットへ挿入します。

   注.　USB メモリーと SD カードを同時に挿入することはできません。

3. カセットテープ挿入し、再生を開始します。

4. 再生と同時に、本体前面の REC ボタン(

)を押すことで録音を開始します。
録音中はディスプレイの表示が以下のようになり REC の表示が点滅します。

カセットテープから録音の場合

USB メモリーへの録音

SD カードへの録音

5. 録音を停止(終了)するには、本体前面の STOP ボタン(

)を押すと、録音を停止します。

◆Point

カセットテープの音楽を、曲ごとにファイルを作成したい場合は、1 曲ごとに REC ボタン(

)と STOP ボタン(

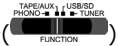
)を押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。
録音した音楽を再生する場合は、マニュアル P.12「10. USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く」の項を参照ください。

【AUX 端子からのダイレクト録音】

本体前面 AUX IN 入力端子と、お手持ちの CD プレーヤー、MD プレーヤーなどの出力端子を接続することで、USB メモリーや SD カードへ録音することができます。

1. 本体前面 AUX IN 入力端子と、お手持ちの CD プレーヤー、MD プレーヤーなど機器のヘッドホン、または LINE OUT などの音声出力端子とを音声ケーブル(※)で接続します。

   ※ 音声ケーブルは付属しておりません。別途接続する機器に合わせたものをご用意ください。

2. ファンクションスイッチ(

)を、TAPE/AUX の位置に合わせます。

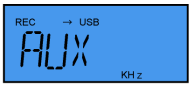
3. USB メモリー本体前面の USB ポートへ、または SD カードを本体前面の SD カードスロットへ挿入します。

   注.　USB メモリーと SD カードを同時に挿入することはできません。

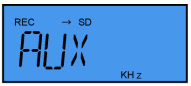
4. 接続した機器の再生と同時に、本体前面の REC ボタン(

)を押すことで録音を開始します。
   録音中はディスプレイの表示が以下のようになり REC の表示が点滅します。

   AUX(補助入力端) 端子から録音の場合



USB メモリーへの録音



SD カードへの録音

5. 録音を停止(終了)するには、本体前面の STOP ボタン(

)を押すと、録音を停止します。

◆Point

音楽を、曲ごとにファイルを作成したい場合は、1 曲ごとに REC ボタン(

)と STOP ボタン(

)を押すと、曲ごとのファイルを作成することができます。

録音した音楽を再生する場合は、マニュアル P.12「10. USB メモリーや SD カードに記録された音楽を聴く」の項を参照ください。

12. USB メモリーまたは SD カード間のファイルの録音(コピー)

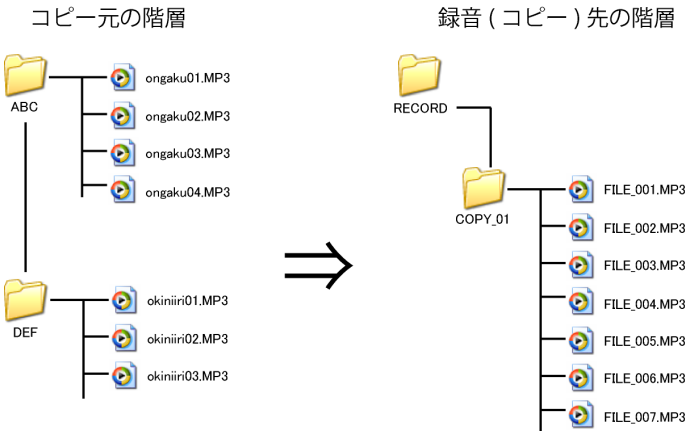
本製品には USB メモリーに記録された音楽ファイルを、SD カードへコピー、または SD カードに記録された音楽ファイルを USB メモリーへ録音(コピー)することができます。

■ 各記録メディア間の録音(コピー)に関しての制限事項について

※ コピー可能なファイル形式は MP3、WMA、のみとなります。
ただし、著作権保護(DRM 付き)された音楽ファイルのコピーは行えません。

※ 録音(コピー)中は、本体から音声は出ません。

※ コピーは音楽ファイルのみのコピーとなり、元のファイルのフォルダ階層やファイル名を維持したまま、ファイルのコピーは行えません。
例えば元のファイル名が「ongaku01」の場合、コピーされたファイル名は、「FILE001」となり、フォルダ階層は例として以下のようにコピーされます。



※ コピー元の記録メディアのファイル容量より、コピー先の記録メディアの容量が小さい場合、すべてのファイルを録音(コピー)することはできません。

※ コピー可能なフォルダ数は 99 フォルダ、かつファイル数は最大 999 曲までとなります。

【USB メモリーと SD カード間の録音(コピー)手順】

- **準備**

1. USB メモリーと SD カードの両方を本体に挿入します。
   この時音楽の再生が始まりますが、STOP ボタン(STOP)で停止してください。

2. コピー元のメディアを SOURCE ボタン(SOURCE)で、ディスプレイ表示を確認しながら USB または CARD を選択します。
   (右図は USB メモリーを選択した場合で、以下のすべての内容については、USB メモリーから SD カードへ録音する場合を例として記述しますが、SD カードから USB メモリーへの手順も同じ流れになります。)

ディスプレイ表示

3. この時音楽の再生が始まりますが、もう一度 STOP ボタン(STOP)で停止し、フォルダ数と曲数の表示にしてください。

ディスプレイ表示

- **1 曲のみ録音(コピー)する**

※ コ

1. コピー元となるメディアから、録音(コピー)したいフォルダを FOLDER+ボタン(FOLDER+)で選択します。
   (右図は 2 つ目のフォルダを選択した場合で、フォルダ内に 6 つのファイルがあることを表します。)

ディスプレイ表示

2. 録音(コピー)したいファイルを NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で選択します。
   (右図は 2 曲目の曲を選択した場合です。)

ディスプレイ表示

3. REC ボタン(●REC)を押し、ディスプレイの表示に右図のように ONE が表示されていることを確認します。
   REC ONE の表示がされていない場合は、NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で選択してください。

ディスプレイ表示

4. もう一度 REC ボタン(●REC)を押すとファイルの録音(コピー)が開始されます。
   録音中は、右図のような画面を表示します。左 3 ケタは選択した曲番号、右 3 ケタは進捗状況を「**%」で表示しています。

ディスプレイ表示

5. 表示の点滅が消え、右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。

ディスプレイ表示

- **フォルダを選択して録音(コピー)する**

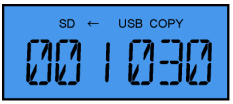
1. コピー元となるメディアから、録音(コピー)したいフォルダを FOLDER+ボタン(FOLDER+)で選択します。
   (右図は 2 つ目のフォルダを選択した場合で、フォルダ内に 6 つのファイルがあることを表します。)

ディスプレイ表示

2. REC ボタン(●REC)を押し、次に NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で選択右図のようにディスプレイの表示に FOL を選択してください。

ディスプレイ表示

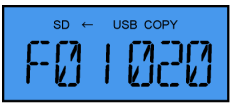
3. もう一度 REC ボタン(●REC)を押すと選択したフォルダ内のファイルの録音(コピー)が開始されます。
   最初に右図のような画面を表示し、コピー先のメモリーをチェックします。



ディスプレイ表示

↓

   コピー中、右の参考例のように “001 030”から、“F01 020”へと表示が変わります。左 3 ケタの“F01”表示は選択したフォルダの番号、右 3 ケタは、曲ごとの進捗状況を“%”で表示しています。



ディスプレイ表示

4. 表示が右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。

ディスプレイ表示

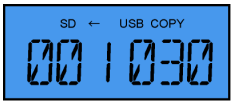
● **すべての音楽ファイルを録音(コピー)する**

すべての音楽ファイルを一括コピーする場合、コピー先のメモリーに 1 つのフォルダが作成され、コピー元となるメモリー内の曲すべてが一括して 1 つのフォルダに収録されます。

1. REC ボタン(●REC [redacted])を押し、次に NEXT ボタン(NEXT [redacted])または PREV ボタン(PREV [redacted])で選択右図のディスプレイの表示のように ALLL を選択してください。

ディスプレイ表示

2. もう一度 REC ボタン(●REC [redacted])を押すと選択したフォルダ内のファイルの録音(コピー)が開始されます。
最初に右図のような画面を表示し、コピー先のメモリーをチェックします。



ディスプレイ表示

↓

コピー中、右の参考例のように “001 030”から、“F01 020”へと表示が変わります。左 3 ケタの“F01”表示はコピー中のフォルダの番号、右 3 ケタは、曲ごとの進捗状況を“%”で表示しています。

ディスプレイ表示

3. 表示が右図の例のように元のフォルダ数と曲数の表示に戻れば、録音(コピー)は終了となります。

ディスプレイ表示

13. USB メモリーまたは SD カードからファイルを削除する。

本体の操作により、指定したファイル、またはフォルダを削除することができます。

ただし、削除したファイルは復元できませんので、削除するファイルやフォルダを一度再生するなどして確認後、十分な注意の上作業を行ってください。

● **準備**

USB メモリーまたは SD カードのいずれかを本体に挿入します。

この時音楽の再生が始まりますが、STOP ボタン(STOP)で停止してください。

● **1 つのファイルを削除する場合**

1. NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で選択します。
   (右図は 5 曲目の曲を選択した場合です。)

ディスプレイ表示

2. DELETE ボタン(DELETE)を押し、ディスプレイの表示に右図のように DEL ONE が表示されていることを確認します。
   DEL ONE の表示がされていない場合は、NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で選択してください。

ディスプレイ表示

3. もう一度 DELETE ボタン(DELETE)を押すとファイルが削除されます。

● **選択した 1 つのフォルダごと削除する場合**

1. 削除したいフォルダを FOLDER+ボタン(FOLDER+)で選択します。
   (右図は 2 つ目のフォルダを選択した場合で、フォルダ内に 6 つのファイルがあることを表します。)

ディスプレイ表示

2. DELETE ボタン(DELETE)を押し、次に NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で右図のように DEL FOL 選択してください。

ディスプレイ表示

3. もう一度 DELETE ボタン(DELETE)を押すとファイルが削除されます。

- **すべてのファイルやフォルダを削除する場合**

1. DELETE ボタン(DELETE)を押し、次に NEXT ボタン(NEXT)または PREV ボタン(PREV)で右図のように DEL ALL 選択してください。

ディスプレイ表示

2. もう一度 DELETE ボタン(DELETE)を押すとすべてのファイルやフォルダが削除されます。

14. その他ディスプレイの表示について

 USB 表示点滅	USB メモリーを検出中。
 CARd 表示点滅	SD カードを検出中。
	USB メモリーが挿入されていない。または、USB メモリーを認識できない状態。
	SD カードが挿入されていない。または、SD カードを認識できない状態。
	USB メモリーまたは SD カードの空き容量がない状態。
	USB メモリーまたは SD カードに再生可能なファイルがない状態。
 再生停止中	再生可能なフォルダ数とファイル数。 ※左図例の場合、フォルダ数 3、ファイル数 21 となります。 フォルダを作成せず各メディアにファイルだけを記録してある場合は、フォルダ数 1 としてカウントします。 ただし、最大表示はフォルダ数 99、ファイル数 999 までとなります。

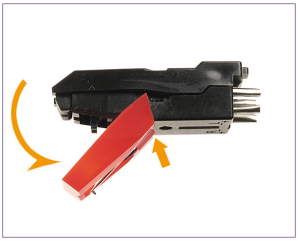
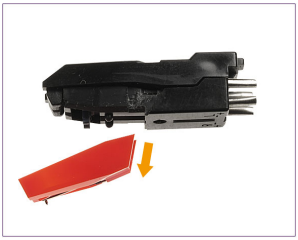
 再生中の繰返し表示 	再生中のファルダ番号、ファイル番号、再生時間を表示します。 ※左図例の場合、1 番目のフォルダの、1 曲目を再生していることになります。
 再生中の繰返し表示 	USB メモリーと SD カード間で録音(コピー)し作成された、”COPY”というフォルダ内にあるファイルを再生中は、表示が“C01”となり、ファイル番号、再生時間を表示します。

15. レコード針の交換手順について

このカートリッジは圧電タイプです。
写真はカートリッジ単体で撮影していますが、通常はトーンアームに取り付けたままでの作業になりますので、慎重に作業をしてください。

※ 針の破損の原因となりますので、交換時は針先に触れないよう交換を行ってください。

【交換手順】

1. 赤いプラスチック部分を左右から指でつまみ、矢印部分を支点にして、回転させるように下に向けて外します。 ※交換針の先端部は爪で引っかかっていますので、取り外しが固い場合があります。	
2. そのまま回転させ、ゆっくり外して下さい。	
3. 最後は下に引き抜くように取り外せば完了です。 新しいレコード針の取り付けは逆順で、最後パチンと音がするまではめ込み、正しくセットされている事を確認すれば出来上がりです。	

16. 困った時は…。

1. FM 放送に比べ、AM 放送は感度が悪かったり、ノイズが多かったりするのですが何故ですか？	Ans1. ラジオの電波特性によるものです。 AM 放送は振幅変調で、音声信号に合わせて電波の振幅を変化させています。 この AM 放送の利点は、信号を作るのが簡単で、復調がしやすいという利点がありますが、 その反面、雑音を拾いやすい、混信しやすいという欠点があります。 特に側帯波が隣の放送局の側帯波と重なると混信が生じます。 また、電波の特性上、建物の構造や周辺の環境などの影響を受けやすく、受信感度にも影響します。 それに対し、FM 放送は周波数変調で、音声信号に合わせて電波の周波数を変化させています。 そのため FM 放送は、雑音に強く、混信しにくいという利点があります。
2. ラジオの受信感度が悪いので、外部アンテナを使用したいのですが、外部アンテナを接続することはきますか？	Ans2. 残念ながら、外部アンテナを使用することはできません。
3. ラジオから SD カードや USB メモリーへ録音ができません。	Ans.3 本製品はラジオを録音する機能はありません。
4. レコード針の交換の目安は？	Ans4. 使用状況や、レコード盤の状態にもよりますが、おおよそ 200 時間の使用が交換の目安となります。

5. パソコンと接続して使用することはできますか？	Ans.5 パソコンとの接続はできません。
6. カセットを再生すると、時々音声が早送りのような状態で再生されてしまう。	Ans.6 主な原因は、テープの巻きたるみによるものです。 巻きたるみを解消してから、カセットテープを挿入するようにしてください。
7. USB メモリー、または SD カードに録音をしたのですが、ファイルが作成されていません。	Ans.7 録音を終了する際､“STOP”ボタンを押さずに、電源を切ったり、USB メモリー、SD カードを抜いたりしますと、ファイルは作成されませんので、録音を終了する場合は、必ず、“STOP”ボタンを押してください。
8. SP 盤（78 回転）のレコードを再生させたいのですが、できますか？	Ans.7 回転数を 78 回転にすることで SP 盤用のレコードの再生はできますが、厳密には SP 盤用のレコード針と、LP/EP 盤用のレコード針は異なり、レコード盤を痛める恐れがあるため、動作保証の対象外とさせていただいております。 なお､SP 盤専用のレコード針の取り扱い(販売)は行っておりません。
9. 保証修理を受けたいのですが、保証書に購入店の捺印がありません。製品の保証は受けられますか？	Ans.9 保証書に購入店の捺印がない場合は、購入時のレシート、納品書等、製品の購入、および購入日を証明できるものを保証書に添付して頂ければ製品の保証は受けられます。 しかし、製品の購入を証明するものがない場合は、製品保証の対象外となり、有償修理扱いとなりますので、購入時のレシート、納品書等はお客様の責任の下、大切に保管してください。

17. 購入後の保証について

保証期間内(製品の使用の有無にかかわらず、ご購入日より 1 年間)に、日本国内で正常な使用状態でご使用の場合に限り、品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を商品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。

- 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。

  ① 保証書をご提示いただけない場合。
  ② 保証書の所定の項目が未記入、または、購入年月日等の書き換え、または訂正された場合。
  ※購入店の捺印がない場合は、購入時のレシート、納品書等、購入を証明できるものを添付してください。
  ③ 日本国外での使用による故障。(海外での電源変圧器の使用を含む)
  ④ 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
  ⑤ 動作保証を行っていない機器への接続や誤ったケーブル､専用品以外の部品等の使用に起因する場合。
  ⑥ 故障原因が接続本製品以外の機器に起因する場合。
  ⑦ お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  ⑧ お客様の故意過失による破損。
  ⑨ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損害。
  ⑩ オークション等個人売買により取得された場合。

※　免責次項

- お客様ご自身の故意による破損・改造、または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害、金銭的損害については、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 製品の販売終了後、一定期間の経過、もしくは修理・保守部品等の在庫切れ等により、予告なく修理対応を終了させていただく場合がございますので予めご了承ください。

18. サポート窓口とアフターサービス

本製品に対するお問い合わせは、サポート窓口へお願いいたします。

住所 ： 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F
株式会社ノバック サポートセンター
サポート専用電話 ：　　(03)3817-0938
受付時間 ：　　月曜～金曜（祝祭日、および弊社休業日は除く）
AM10:00～PM12:00 PM1:00～PM5:00
ホームページ URL;　http://www.novac.co.jp

お問い合わせの前に、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってください。
電話がかかりにくい場合は、弊社ホームページ内の「お問い合わせ」のフォームにてお問い合わせください。

● 修理をお申込の場合は

保証期間中は、無償にて修理いたします。ただし、保証書に記載している「保証規定」に該当する場合や、中古品、オークション購入品につきましては、有償修理となります。詳しくは保証書をご覧ください。保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。

※ 弊社が販売を終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。予めご了承ください。

● 修理品の依頼について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を用意ください。

1. 本製品の保証書

※ 保証書に購入店の捺印がない場合は、購入時のレシート、納品書等、購入を証明できるものを添付してください。
購入店の捺印がなく、購入を証明できるものがない場合は、製品保証の対象外となります。

※ 保証期間内であっても保証書の添付が無い場合は、有償修理扱いとなります。

※ 保証期間を経過した場合は、保証書は必要ありません。

2. 下記内容を記載したメモ

※ ご返送先（住所/氏名/電話番号）

※ ご連絡先メールアドレス

3. 修理品を梱包してください

※ 上記でご用意いただいた物と一緒に梱包してください。

※ 輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱、梱包材等で梱包してください。

- **修理の依頼先について**

修理のご依頼の際は、購入店へお持ち込みください。

また、修理を直接弊社にお送りいただく場合は、下記サポート窓口までお送りくださいます様お願いいたします。

※ 原則として、送付いただく際の発送時の費用は初期不良（購入後 1 ヶ月以内を除き、お客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

※ 送付の際は、紛失を避けるため、宅配便か、書留郵便小包でお送りください。

【送付先】

〒113-0033　東京都文京区本郷 3-43-16　成田ビル 3F

株式会社　ノバック　ユーザーサポート　宛

☎ 03-3817-8711

らくらくデジタル録音機取扱説明書
発行日： 第 1 版 2012 年 08 月
発行元： 株式会社ノバック
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-43-16
成田ビル 3F
RP0041200810JO